

## 第 12 回総会議事録

---

日時 1999 年 9 月 11 日(土) 12:00-13:00

場所 新潟工科大学南棟 1F 講義室 4(E 会場)

### 議事

1999 年日本原子力学会秋の大会期間中の上記の日時、場所において、炉物理部会総会を開催した。議事の内容は以下の通りである。

#### (1)2000 年春の大会における合同企画セッションについて

大杉委員より、「BWR 核熱水力安定性研究の現状(仮題)」と題し、熱流動部会と合同で開催する計画を進めているとの報告があった。

#### (2) 2000 年秋の大会での企画セッションについて

青木部会長より、炉物理部会単独で開催する主旨の説明があった。本件について、意見やテーマを募ることとした。

#### (3) 部会内規の改定について

青木部会長より、運営委員に学会の炉物理部会担当企画委員一名、学会編集委員一名および学会炉物理委員会委員長を加えること、および、その選任方法、また、部会長と副部会長の任期に関する内規の改訂の提案を行った。改訂については了承されたが、書き方については再検討することとなった。

#### (4) 炉物理委員会からの報告

原研中川氏より、新たに、3つの WP が発足すること、活動は 2 年程度を目処とすること、9 月には原研内の手続きが終了し、活動を開始することが報告された。

#### (5)共同標準炉物理コード WG の発足について

小林氏から、主旨が説明され、参加者の募集がなされた。メンバーで、何をどういうスケジュールでやるかについて先ず検討し、示して欲しいとの意見が出た。

#### (6)1999 年夏期セミナーの報告

東海大阪元委員から、参加者 37 名で、無事終了したことや会計が報告された。

#### (7)2000 年夏期セミナーの予定

九大工藤氏より、九州大学幹事で、九州地区にて、7/30-8/6 の間の 3 日間で計画しているとの説明があった。

#### (8)企画セッション等の講師謝礼について

青木部会長より、他部会と同様、今回から講師謝礼(1 万円)を支給するとの報告があった。

#### (9)部会報「炉物理の研究(第 49 号)」の発行について

近畿大橋本委員より、1999 年秋の大会の企画セッションの記事を載せるため、部会ニュースに替え、部会報を発行する旨の報告があった。

#### (10)次期運営委員の立候補と推薦について

青木部会長より、自薦および他薦の募集の呼びかけがあった。庶務幹事に 9 月中に連絡することとなった。

#### (11)収支中間報告

名大山根委員より、8 月末までの部会の収支決算の中間報告があった。異議なく、了承された。

#### (12)その他

学会誌の新企画について

東北大岩崎委員より、学会誌の新企画で、会員若手を対象に、教科書的に、原子力全般を5年程度でカバーする連載講座が予定され、炉物理がそのトップバッターとなるとの話があった。東北大平川先生が主担当となり、第1回目は「原子炉とは」の予定。完結後は、本として出せるようにしてはとの意見が出た。

学会企画委員会からの報告

阪大竹田氏より、2001年の学会をハワイで開催することを計画しており、米国と調整中である旨の報告があった。

以上